



この学校が好き



自分の学校・仲間に
誇りをもって



チャイムが響く音、チョークが黒板をたたく音
放課後のグラウンドの喧噪。

—ここは、私の学校。

いま、この学校を見つめてみる。

この学校の一員であることを考えてみる。

全国には一万を超える中学校があるけれども

私の学校は、いまいるこの学び舎。

先輩たちが培ってきた学校の伝統。それを受け継ぐ私たち。

この校風を、私たちの時代にもっとすてきなものにして

後輩たちに伝えることはできないだろうか？

我が校の校風を語ろう

私はこう思う

年 月 日

学校ってものは、からだとかからだのぶっつかり合うところだ。先生の魂と生徒の魂が触れ合う道場だ。それではじめて、生徒は何ものかを体得するのだ。一生忘れないものを身に付けるのだ。

山本有三『路傍の石』



この学校をもっと

すてきにしたい



この学校をよりよくするために あなたの考え、友達の考えなど

年 月 日

年 月 日

いま、この学校に私たちは誇りをもてるだろうか？
きっと「よいところ」もあり
「よくしなければならぬところ」もあるだろう。
校風とは脈々と受け継がれるものであるけれど
私たちが気づいて行動することで
いっそうその輝きを増すことができる。

私たちに

できることはなんだろう



私と学校

折に触れて…

思い出の行事

好きな場所

楽しかったこと

忘れられない人たち

忘れられない言葉

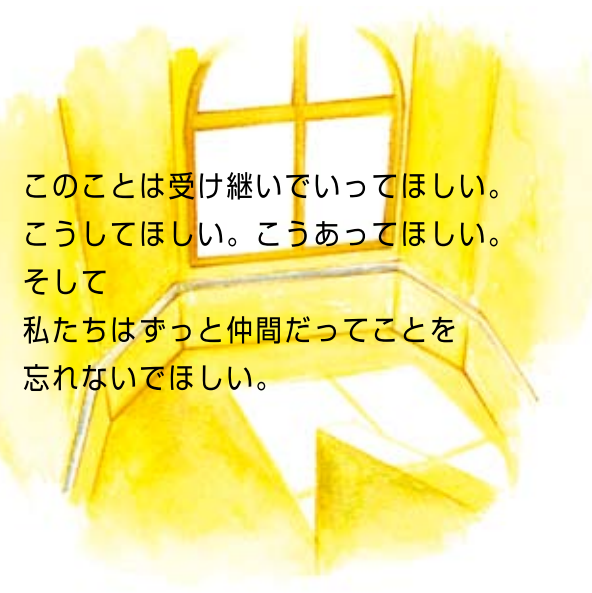
忘れられない一日

そして…

後輩に伝えていきたいこと

年 月 日

年 月 日



このことは受け継いで行ってほしい。
こうしてほしい。こうあってほしい。
そして
私たちはずっと仲間だってことを
忘れないでほしい。